

(10) 保健体育に関する調査

(A) 調査資料について

「児童生徒のからだ」についての調査研究はすべて定期身体検査統計資料によつた。せめて対象学級だけでも専門医の検査測定によつて分析研究したかつたが費用その他の事情によりそれができなかつたのは遺憾であつた。

(B) 発育

足利市の小中学校の児童生徒の発育を見るために昭和24、26、28年度の統計により検討し隔年3か年の発育推移と昭和28年度の全国平均、栃木県平均との比較を試みた。最初に昭和28年度の児童生徒の発育状況を見ると

・第一表 昭和28年度児童生徒発育比較表  
(全国、栃木県、足利市)

種別	年齢 性別 区分	6		7		8		9		10	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		身長 Cm	全国平均	100.5	108.6	114.8	114.1	119.7	118.8	124.2	123.5
	栃木県 "	110.7	109.1	115.2	114.1	119.5	117.9	124.3	123.8	128.7	129.1
	本市 "	109.6	109.5	114.3	115.5	119.5	120.2	123.5	124.6	129.0	130.1
体重 Kg	全国平均	18.6	18.0	20.6	20.1	22.8	22.1	24.8	24.3	27.1	26.8
	栃木県 "	18.5	18.0	20.6	20.0	22.7	23.0	24.7	24.3	26.8	26.9
	本市 "	18.0	18.2	19.8	20.3	22.0	22.5	23.8	24.6	26.3	27.1
胸囲 cm	全国平均	56.2	54.7	58.3	56.5	60.2	58.4	61.9	60.2	63.8	62.1
	栃木県 "	56.1	54.6	58.2	56.5	60.1	58.3	61.9	60.1	63.7	62.4
	本市 "	54.5	55.6	55.9	57.5	57.3	59.0	59.6	60.8	61.0	63.2
座高 Cm	全国平均	62.5	62.0	65.0	64.6	67.2	66.8	69.2	68.9	71.2	71.1
	栃木県 "	62.8	62.5	65.5	65.1	67.3	67.1	69.4	69.2	71.1	72.4
	本市 "	62.7	62.7	64.9	65.5	67.0	67.5	69.4	69.3	71.2	71.7

11		12		13		14	
男	女	男	女	男	女	男	女
133.1	133.6	137.9	139.4	143.5	144.2	149.6	148.0
133.4	134.1	137.3	139.2	142.8	143.2	149.6	147.7
134.5	134.5	138.2	140.2	143.6	145.4	149.5	147.9
29.5	29.9	32.5	31.1	36.5	38.3	41.6	42.5
29.5	29.9	32.5	34.1	36.2	37.9	41.5	42.7
29.1	29.2	32.9	34.4	36.2	37.7	41.4	42.2
65.7	64.7	67.9	68.1	70.6	71.6	74.2	74.9
65.8	64.9	67.7	68.2	70.2	71.2	73.3	75.0
64.5	64.8	67.5	70.1	69.9	70.6	74.1	74.2
73.0	73.6	75.1	76.5	77.8	79.1	81.0	81.3
73.3	73.9	75.1	76.3	77.5	78.6	80.9	80.9
74.2	73.2	75.0	75.2	77.5	79.8	81.0	81.6

### (a) 身長

第二表第一図のグラフでみられるように男子においては県平均が小学校では各年令とも全国平均を少しづつ上まわっているが、中学校ではその逆で各年令とも全国平均が県平均を僅かに上廻っている。本市の平均は7.8.9年が縣及び全国平均に劣っている6.12年がその中間を占め他は縣及全国の平均をしのいでいる。

女子においては14年の中間を除いては全国、県平均をしのいでいる。8.9年は1cm余も上廻っている。以上を概観して男子は7.8.9年が劣るが他は劣ってはいない。女子は県、全国平均に比べて大きいといふことができる。

### (d) 体重

第二表第二図のグラフでわかるように男子は12年を除いたほか各年とも全国、県平均よりも劣っている。女子は6.7.8.9.10.12年が全国、県平均をオーバーし劣っているのは11.13.14年のみである。以上を概観すると女子の体重は全国、県の平均に比べて大体に於て優れているが男子は殆んど全国、県平均に及ばない状態にあるといふことができる。

### (c) 胸囲

第二表第三図のグラフが示すように男子の胸囲は殆んど全国、県平均より劣っている。特に6.7.8.9.10.11年とは1Kgから3Kg近くまで劣っている。このことは大いに注目しなければならない点である。女子の胸囲は13.14年が劣っているのみで他は全国、県平均と比較して優位を示している。

### (d) 座高

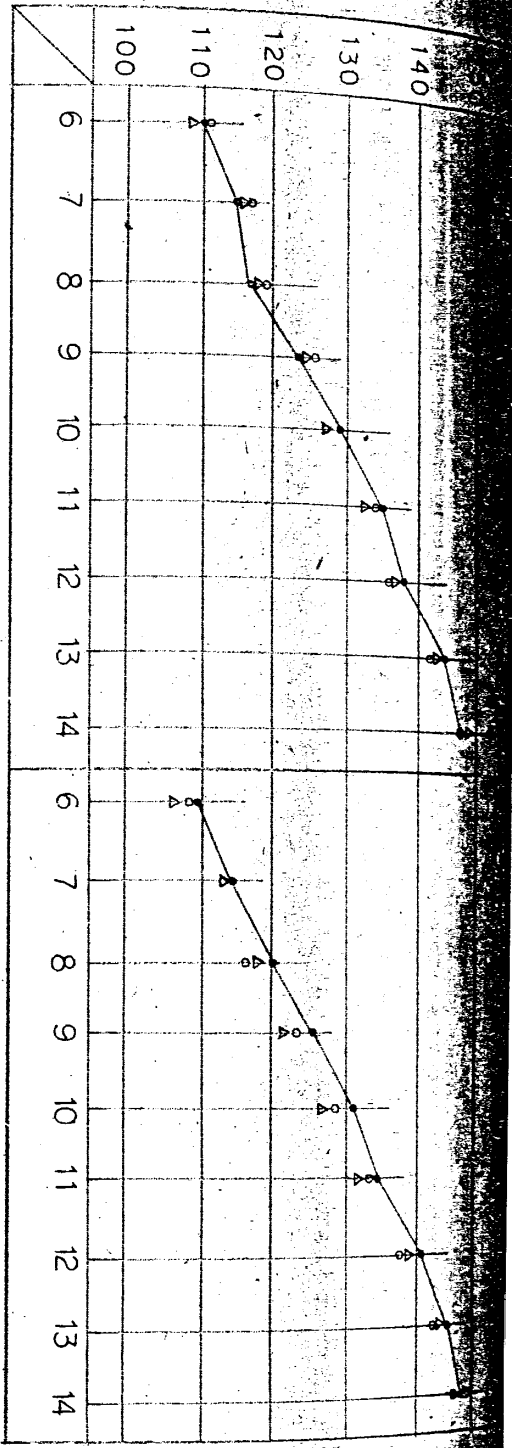
第二表 第四図のグラフに示されているが男子は全国、県平均に比して大差はないが7.8.12年はやや劣っている。11年のみが両平均を凌いでいるだけで他はほとんど同程度である。

女子は11.12年が劣っているだけで6.7.8.9.13.14年は全国、県平均よりまさっている。以上によって本市の子供の座高は全国、県の平均に比し男は普通で女子は一般に優れているといふ得られると思われる。

### (e) 疾病異常

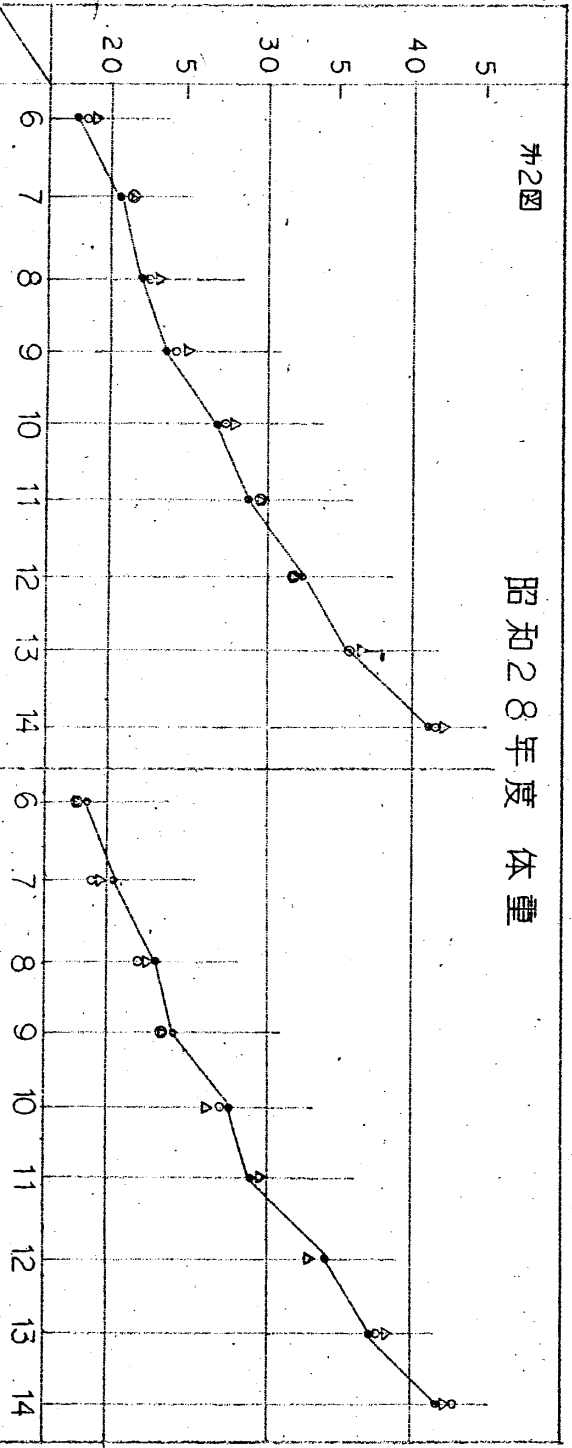
先にも述べた通り各学校の定期身体検査統計資料によつたので發育の資料よりも疾病異常の資料において各校検査者の判定の相違により厳密な意味での公正な比較検討は困難なのであるが一応参考までに第三表として本市小中学校児童生徒の疾病異常百分率と全国のそれとの比較を示しておく。

第三表を概観するとトラコーマ及処置齒の率が全国に比してよいのはかなり衛生活動が進んでいることがうかがわれる未処置齒及寄生虫卵保有人員の率を見ると小学校に比し中学校の率がよくないのは考えなくてはならない。



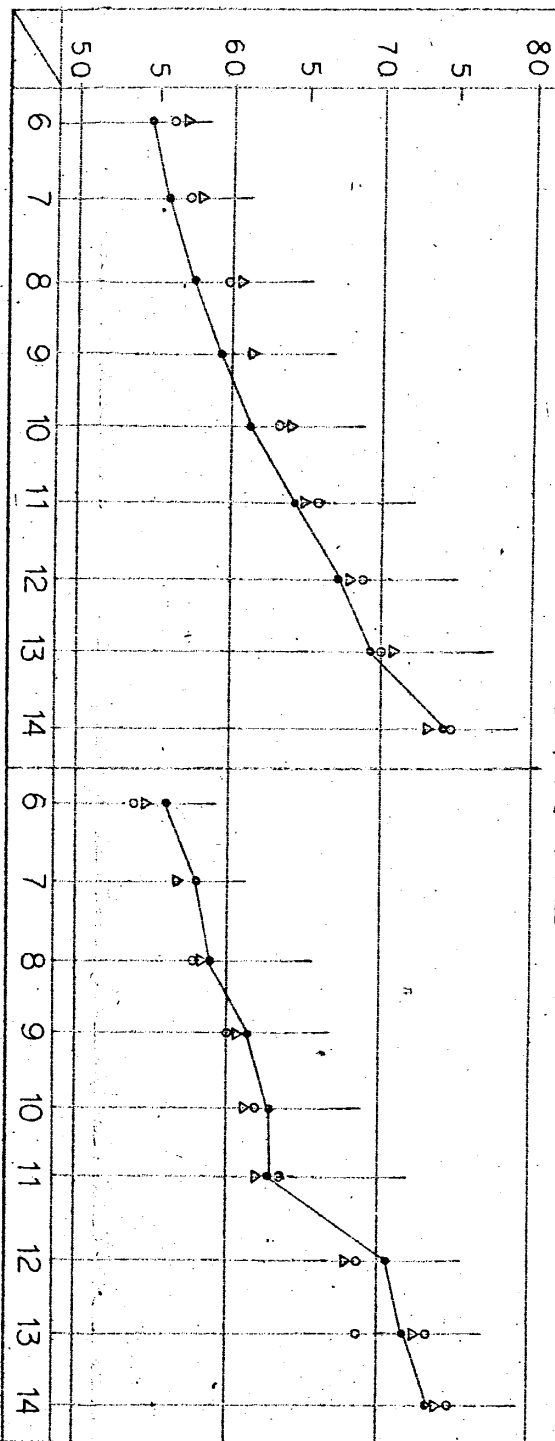
註 ○全国平均 △本県平均 ●本市平均

表2図 昭和28年度 体重



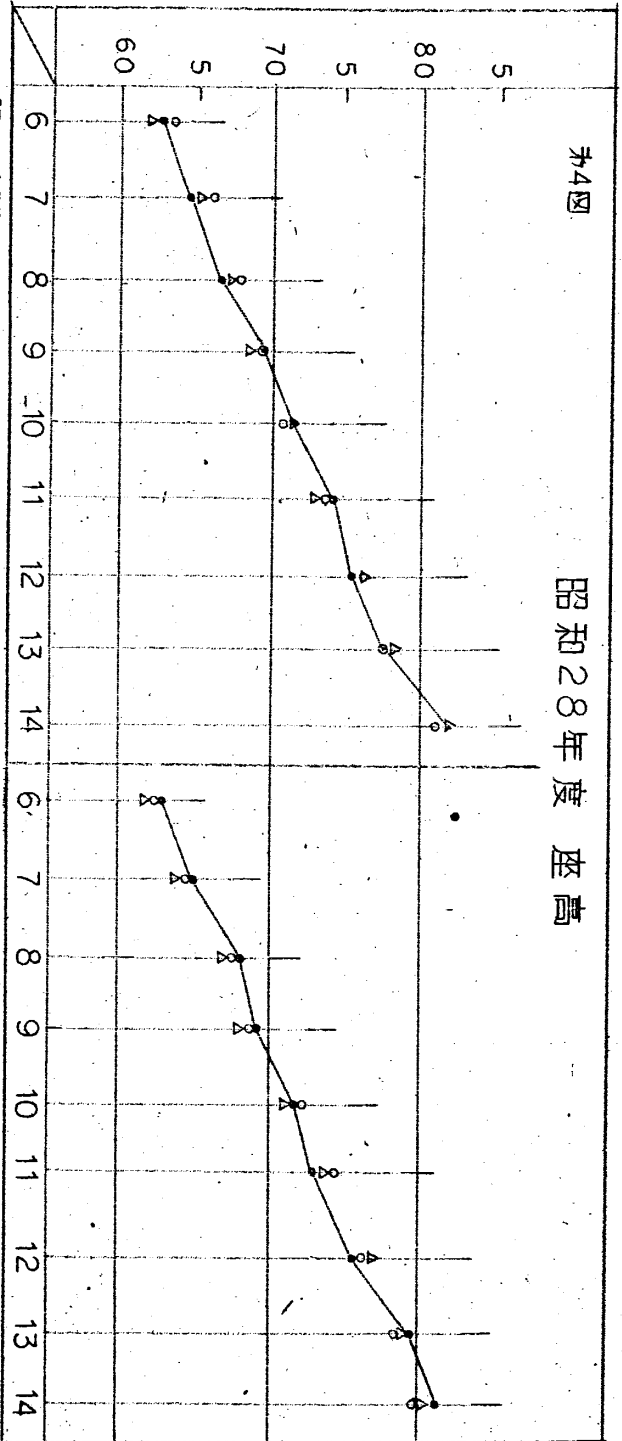
加3圖

昭和28年度 胸囲



加4圖

昭和28年度 座高



○全圖平均 △本圖平均 ●本市平均

・第三表

本市小中学校児童・生徒の疾病異常百分率と全国のそれとの比較

区 分		小 学 校		中 学 校	
		本市(%)	全国(%)	本市(%)	全国(%)
栄 養 要 注 意		1.54	1.75	0.40	1.40
脊 柱 異 常		0.61	1.23	0.58	1.25
胸 郭 異 常		0.78	1.21	0.40	0.78
屈 折 異 常	近 視	3.73	7.72	4.33	9.51
	遠 視	0.15	0.09	0.07	0.21
	乱 視	0.05	0.06	0.20	0.90
弱 視 (両 眼)		0.59	0.24	2.69	0.97
色 神 異 常		0.97	0.74	0.66	1.53
ト ラ コ ー マ		1.86	5.09	2.30	5.39
難 聴 (両 耳)		0.47	0.38	0.20	0.63
中 耳 炎		0.76	0.94	0.40	0.64
鼻・咽 喉 の 疾 患	鼻 疾	0.18	1.68	1.60	1.04
	扁桃腺肥長	8.27	8.51	9.20	7.81
伝 染 性 皮 膚 病		1.99	2.05	0.40	2.02
その他の疾病 及び 異 状	精神薄弱	2.15	0.21	0.07	1.19
	身体虚弱	0.93	0.47	0.16	0.29
	運動障害	0.66	0.26	0.12	0.26
う 歯	処 置	4.70	1.50	6.30	4.66
	未 処 置	21.60	40.13	30.50	34.69
ツベルクリン皮内反応 陰性及疑陽性		21.10	68.12	18.10	44.92
結 核 性 疾 患		0.11	0.84	0.17	0.85
寄生虫卵保有該当人員		47.20	57.98	65.80	54.29